



旧見付学校だより vol. 102

平成 30 年 10 月 30 日

旧見付学校と見付地区探訪 ⑤ ～ 金剛寺 ～



旧見付学校東側の宮小路から旧東海道を渡り、南小路を歩いていくと金剛寺境内が左に見えます(徒歩 5 分)金剛寺は曹洞宗のお寺です。慶長^{けいちょう}15 年(1610)から元和^{げんな}5 年(1619)に中泉代官となった大石十右衛門康正が開基しました。ここには、「伝酒井之太鼓」を見付学校の新築落成記念に寄贈した人たちの中の 1 人【大和田友蔵】の墓碑が残っています。本名は【磯部友蔵】(明治 15 年没、56 歳)、於保村大和田の出身であることから大和田友蔵とか、見付の在であるから見付の友蔵といわれた^{きょうかく}侠客で、清水次郎長の兄貴分でした。遊女屋を経営し、お上の御用も預かりました。

友蔵らに寄贈された「伝酒井之太鼓」は、酒井忠次が徳川家康の窮地を救ったと伝えられる太鼓で、当時は最上階に置かれ、児童の登校の合図や正午の時報として、また児童の士気を高めるための太鼓として毎日打ち鳴らされ、見付の人たちの「生活の音」として親しまれていました。現在は市の指定文化財となり、旧見付学校の 1 階に展示してあります。

旧見付学校では、企画展「明治 150 年と学校教育」を開催中です。お寺巡りと合わせて、この機会にぜひご覧ください。お待ちしております。



〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL&FAX 0538-32-4511

(休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始)

11 月の休館日：11/5、6、12、19、26～27

12 月の休館日：12/3、10、17、25、29～31